



花崎北小学校だより

学校教育目標 「かしこく やさしく たくましく」

令和7年度
6月号
児童数 227名

「朝のあいさつ エンジン全開」

花崎北小学校長 刑部 香織

「朝のあいさつ エンジン全開」 これは、「花崎北小 あいさつの合い言葉」です。校舎内に掲示してあり、幟（のぼり）もあります。どれくらいの児童が意識しているのでしょうか。この合い言葉がいつ頃できたのか調べてみたところ、平成29年度にできたことがわかりました。「元気なあいさつができる花北小」を目指して、当時の児童からあいさつの合い言葉を募集して決まったそうです。皆さんの先輩が考えた合い言葉です。「お互いに元気なあいさつをして気持ちよく1日をスタートしよう！」「今日1日、頑張るぞ！」という気持ちが伝わってきます。



あいさつについて、米澤先生が「お互いがいい気持ちになる」だけでなく、私はあなたがそこにいることを知っているよ！気がついていてよ！いつも気にしているよと、「相手を認めること」とお話をしてくれました。あいさつは、漢字で表現すると「挨拶」となります。「挨」は、「近づく」「押す」という意味があり、「拶」は「迫る」という意味があります。もともとは禅宗に由来し、僧侶同士が問答を繰り返す行為を指していましたが、今では人に対して**尊敬や親愛の気持ちを表わす動作や言葉などを意味し、「相手を認め、自分の心を開く」ということでもあると**されています。

あいさつには大きなパワーがあると言われています。

- ① 相手の存在を認めているということを現すことができる。
- ② 仲良くなるきっかけになる。（話しかけやすい人だな、とコミュニケーションが取りやすくなる）
- ③ 感謝の気持ちを伝えることができる。（ありがとうなど）
- ④ よい印象をもってもらえることができる。（第一印象は持続するそうです。はじめの印象は大切）
- ⑤ 緊張をほぐすことができる。（あいさつをされるとホッとしますし、自分も声を出すことによって緊張が解かれる）

花北っ子のみなさんが、元気なあいさつで1日をスタートし、お互いを認め合いながら充実した学校生活を送ることができるようにしていきましょう。